

図書館だより 2月号

2023年2月21日発行
阿波高校図書委員会

2023年、初図書館だよりです。
一ヶ月遅れのスタートとなりました。
新年の抱負はいったいどうなった・・・？
ということで、2ヶ月分を一気にご紹介いたします。
お気に入りの1冊に出会えるでしょうか！？
新しい年に、新しい本とたくさん出会えますように！
それでは、今年もよろしくお祈りします！



〇 I I H R 図書委員藤本のオススメ！

作品名:Medium 霊媒探偵城塚翡翠

作 者:相沢沙呼

【あらすじ】・・・推理作家として難事件を解決してきた「香月史郎」は、心に傷を負った女性、「城塚翡翠」と出逢う。彼女は、霊媒であり、死者の言葉を伝えることができる。しかし、そこに証拠能力はなく、香月は霊視と論理の力を組み合わせながら、事件に立ち向かわなくてはならない。一方、港では姿なき連続殺人鬼が人々を脅かしていた。一切の証拠を残さない殺人鬼を追い詰めることができるとすれば、それは翡翠の力のみ。だが、殺人鬼の魔手は密かに彼女へと迫っていた。

【レビュー】・・・第20回本格ミステリ大賞受賞、このミステリーがすごい！大賞受賞本格ミステリ・ベスト10大賞受賞、SRの会ミステリベスト10大賞受賞
2019年ベストブック大賞受賞

〇 I I H R 図書委員藤野のオススメ！

作品名:星の王子さま

作 者:アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ

ある日サハラ砂漠に不時着した操縦士の「ぼく」は小さな星からやってきた男の子「星の王子さま」と出会います。この物語は、そんな男の子の旅の話の話を聞く8日間の僕のお話が描かれています。王子さまとの出会いをきっかけに成長していく「ぼく」が見どころです。大人も子どもも読んで楽しめる作品だと思います。ぜひ読んでみてください。

〇 I 2 H R 図書委員岩坂のオススメ！

作品名:「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」

作 者:相沢沙呼

私は「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」という本をおすすめします。
この本は、今から約80年前に起きた第二次世界大戦を舞台に書かれた物語で、絶対に涙なしでは読むことができない感動物語となっています。
この本を読むと、命の尊さや、戦争の残酷さ、愛する人を一瞬で失ってしまうことの悲しみ、戦争を反対してもやめることができない苦しみなど、様々なことを読者に教えてくれます。きっとこの本を読んで後悔はしないと思うのでぜひ読んでみてください。

〇 I 2 H R 図書委員山内のオススメ！

作品名:8年越しの花嫁 作 者:中原尚志・麻衣

結婚を目前にして難病に侵された女性とその婚約者の8年間に及ぶ愛と闘いが描かれた本です。実話を基にしており、2017年には映画化もされました。恋人、家族、友達など様々な視点から物語が描かれており、とても考えさせられるお話です。そして、とても感動します！ぜひ読んでみてください！

〇 I 3 H R 図書委員服部のオススメ！

作品名:キンプリの“今”“これから”-真実のKing&Prince-

著者名:谷川勇樹

図書室には無いのですが・・・。そして、ティアラ限定になってしまうかもしれませんが・・・。ティアラにも、そうでない人にも読んでほしい1冊です。
5月22日に平野紫耀くん、神宮寺勇太くんがグループを脱退、事務所を退所します。秋頃には、岸優太くんが退所してしまいます。永瀬廉くん、高橋海人くんがKing&Princeとして活動していくみたいですが、この本はキンプリメンバーが語った言葉と、周辺スタッフから見た素顔を紹介しています。彼らの本音と真実をぜひあなたの目で確かめてください。

〇 I 4 H R 図書委員田中&清水のオススメ！

作品名:かがみの孤城 作者名:辻村深月

主人公の安西こころは、友達関係が原因で学校に行けずにいた。ある日、自分の部屋の鏡が光り出し、こころは鏡に入る。そこには、オオカミ様という子がいて・・・。オオカミ様はこころだけでなく複数の中学生を集めていた・・・。
ジャンルは「マジックリアリズム」で、ファンタジーが好きな人に、おすすめです。
学校の図書館にもあるので、ぜひ読んでみてください！



